

四月から新校舎で授業

性の育成を期する」というスローガンのもとに、小島菊代校長以下三三名の教職員が全力を投入しています。

勉学にいそむ生徒は、全校で七
二十七人（二年生八クラス、二・三
年生各四クラスで二クラス平均四
五人）です。将来は各学年とも一
二クラスとなり、全校では約一六
〇〇名になる予定です。

教育には、一気力・体力・学力
の調和的充実と明るい豊かな人間

体育館も五月末には完成

竣工式で挨拶する高木教育委員長

開設し、宮西中学校が四月一日に開校し、五日に入学式と始業式が行われました。

同校は、昭和五十二年三月宮小學校の陳長吉氏で、中学新設の陳が二人の多助同子で、今日も同年度ならぬ職員委員が町議会に審議を依頼し、ある面でもきつ迫りの努力を講じ、再び一学校としての努力をされました。また、建設にあたっては、みなきつ力に大きな意欲と不便をお掛けして下さるを紙面をもって致しおわります。

現在、同校では新入生三十二名と、二宮中学校からの轉生生云三名が、鈴木中学校以下一五名の教職員とともに(新學校の第一歩)踏みだしました。

學校の施設は、すでに桐原北平方石の地に筋コシ一四四厘二校舎はじめ、諸施設を建設しはじめ、教室数は五で、教員一八、特別教員は、専て將生生徒が増えることを見込んで余裕をたてたであります。休館も現在事が進み、丹朶に完成の手です。

なお、三月二十日、関係者二二名を招きし竣工式盛大に行われました。

毎月一日は
省エネの日

民間の運動団体は、あき源と

② 上(し)に火を
③ ことやへやの室温に心掛け
④ ストープはこまに手入れを
⑤ ④ 灯りはこまに調子。また、
掃除をする。
⑥ テレビつけたままにしない
⑦ 冷蔵庫の置き場所が適正な所
⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

届け出には職業を

出生、死亡、死産、婚姻、離婚など

四月一日から翌年三月三十一日までの間出生、死、死産があったり届け出られたりした期間に婚姻、離婚の届けをされる方は届書に職業、死については死因も記入していただくことになります。

厚生省では、届書に書かれた内容をもとに、人口動態統計を作つていまふ。この人口動態統計が、国勢調査の補足とも、わが国に關する基礎的資料として利用されていまふ。

今年度は、さらに、職業、死、死産、婚姻、離婚といふことも調査し、国勢調査に、聖別別人口をもとに、出生、死亡、死産、婚姻、離婚といふ人口動態事象が、職業によつ

名所・旧跡めぐり

四してた高山農道（合が丘五丁目一番より八丁勾当に至る）の拡幅工事については、諸團の賛情により延引していたが、要領でも改めて工事に着手します。
 この工事が完成すると、延長五・四四（一）里四・五五になる予定です。
 工事完成後の道路は、一般通車におよばない農業者の車両の通行許可ですが、一般車は制限されています。また、この区間は、大正十一年開闢の馬車鉄道計画により、大正十三年護国寺地内に

26日	二宮西中学校校工式 交通安全対策協議会
27日	農業委員会総会 広報編集委員会議（広報4月号の編集等）
30日	消費生活展
31日	消防団退入式

○ 固体の合成樹脂製品や半製品
原料合成樹脂や合成樹脂くずなど
を合成樹脂屑（例・発泡スチ
ロール箱、じル箱）マストレ
ーとして特許可燃物に指定し
ました。これにより、定めた量
以上を貯蔵する場合の取扱い方
法を定めました。

以上、主な点をお知らせしまし
たが、ななくわしいことや不明
の点は請本部（電話一〇〇二
五）へ。

昭和四十六年四月一日

可処分物の取扱い方法

建設省 国土地院
(財) 国土院

可燃物

100cm以上

可燃物

20cm以上

可燃物

100cm以上

可燃物

いってください。

届書に記入された事項は、戸籍法等に基づき、また、届書からの調査票については、統計法にも基づいて、個人の秘密を他人にも与えよすなことはあませんので、正確に記入してください。

宮山農道の改修

工事は55年度に

●職種 消防職員（二宮町）
●資格 高卒で25歳までの
●受付け 4月23日まで（除、
さい（但し、郵送の
●受験の日時・場所 追って
●申込みは備え付けの申請書

図に示すとおりです。

○ 液体燃料を使用する設備、器具の点検、整備については、軽微なものを除き、熟練者または協会が行う。日本石油燃焼機器保守協会の行う講習を修了した者などに行わせなければならない。

図に示すように、給湯、暖房用機を使用する風呂室、温風乾燥機、温水ボイラー、給湯、暖房用機、ストーブ（移動式も含む）は、公的機関の行う点検に合した設備や感測器を使用しないこと。また、これらの器具を設備設置する場合、火災予防上安全な距離を定めなければならない。必ず守るようお願ひします。たとえば移動式ストーブの場合は下の図に示すとおりです。

(2) 石油ストーブ（対流型）

図に示すように、給湯、暖房用機を使用する風呂室、温風乾燥機、温水ボイラー、給湯、暖房用機、ストーブ（移動式も含む）は、公的機関の行う点検に合した設備や感測器を使用しないこと。また、これらの器具を設備設置する場合、火災予防上安全な距離を定めなければならない。必ず守るようお願ひします。たとえば移動式ストーブの場合は下の図に示すとおりです。

坪倉は、町・村邊なるものは、全
 くの市中に没して、**町・村邊**なるもの
 へあて、定められた事項を、**町・村邊**
 に入らへて提出した。たゞ、**町・村邊**
 については、**出生・死**の書寫
 座席、**婚姻・離婚**座席、**死亡**座席、
 にお預り、が、窓口へ預てゐる
 ます。これを参照のうえ、正し
 書いてた。

職業表「公務員」「会社員」がない
 と記入されます。職業が分類が
 きません。記入にあつて、わか
 りないときは、住民課の窓口へ
 書いてた。

消防職員募集
消防署勤務）・給与 町の規定により支給
男子…1名
日曜、祭日)に履歴書持参のうえ総務課へおいでくだ
場合は締切日必着のこと)
申込者に連絡する
ことより手続きしてください 電話71-3311

例の制定など

三列議會＝

昭和五十五年第二回町役会計・同国庫健康保険事業特別会計
の予算及び審議が四月十二日（土）日まで開かれ、同日議決された。審議された事項は、提出された提案は一つありとおで、一部補正審査なり、各担任委員より更に
に廣が加えられることになりました。その他は原案のとおり可決成立しました。また、
結城議員はかまがたで質問をしました。

なお、審議のためには近々発行の「議会より」を二頁ください。

●監査委員の選任について
田田田代氏（一町）の選任が
同意されました。

●職員給付に関する条例の一部
を改正する条例
（昭和五十二年三月三十一日現在）

●保険特別会計増予算
歳入・歳出ともにそれぞれ五十四
万七千五百円を過し、国庫会計
の子算繰額（西億六千六百七十二
万円と五〇〇〇円）を減らすことに
なりました。

●町道路標の廃止審査について
町道第三号線はかまがた路線を
止めることにいたしました。

●下水道法による下水道の整備についで

正する条例案について

○議決委員の報酬及び費用并に
に関する条例の一部を改正する
例案について

○特別職員報酬費用並に官の額並に
支拂ふた条例の一部を改正する
例案について

○別職の職の給に關する案
例の一部を改正する例案について

○教育長の給その他の勤務条件
に關する給の一部を改正する案
について

以上による制度の改善を求める
請ひについて

○提議審査をなりました

○給による差別的禁止法の制定
促進に關する請願について

○健康保險改正案反對に陳述
書を求める請願について

○提議審査をなりました

○町訂立 西中学校的の建設に
關する請願について

以上を未了にいたしました

元町の守護神に祭つてゐる神は
 菅田尊（はなわけみこ）と
 一應天神で、武門神と
 言われて、民衆もよく信仰さ
 れます。本宮は佐神宮（今
 分県宇市）である。伝には
 応神天皇の御御孫、人神比
 （おとひと）と言う神の御
 が現れて、断食すること三年、
 遂に八幡神の神託があり、
 「又まじふ神を祀るべき事あり
 ちひこに」と

明治の始め、善住寺は
 ため焼失。本寺の大蔵と
 様のみが免れた。その
 ため、明治三年二
 月八日、古暦平七氏の志
 で、通称新田川、三好村
 は、新田川、二世の
 が篤起人など衣履を
 明治十七年九月十日
 だ。現在、豊後郡、旧

火災の
八幡
破損が
村重役
知より
山八三
地に完
昭和五
建設局
足定、
四月十
二十三日
上棟式、
七月五日

関東大震災により、大正十
四年四月二十一日中宮及び表裏
補修完了、昭和十三年十月に
田新太郎氏寄贈の山林を拝領
定め、一部吉川佐太郎氏の贈
を受け崇拜者の奉仕により敷
地に完成、昭和五十四年二月
社造営発起人会、建設局より
決定、四月十七日社殿解体
二十三日地祭り、六月二十
上棟式、七月五日に竣工とす

町の動き

火災予防条例を改正

ストーブの使用場所などきめる

町では火災の発生を防止し、万一発生した場合は被害をなすべく少くするために火災予防条例を定めています。この一部が改正さ

れ、四月一日から施行されました。この改正の主な内容はつぎのとおりです。

○ 液体燃料（灯油や重油など）

名所・旧跡めぐり

七年、秦野往環建設及び三十年開設の馬車鉄道計画により大応寺守護神妙見神社境内に

移、九

届け出には職業を

出生、死亡、死産、婚姻、離婚など

四月一日が保元三年三月十一日までの出来事、死に、死産がある。ついでに出た生、死に、この期間に婚姻、離婚の行われる方は「届書」で職業上いたことになつてゐます。

厚生では、「届書」に書かれた内死亡、死産、婚姻、離婚、出生、人口動態統計を作つてゐます。この人口動態統計を元に、国勢調査の基礎となる資料として、人口に関する系統的な資料をつくり利用してゐます。

今年度はさらに、職業、業種別に調査し、人口調査資料とあわせて、産業別人口をもとに、出生、死、死産、婚姻、離婚、出生、人口動態統計、職業上につ

この工事が完成すると、延長六
四〇呎、幅員四、五呎になす予定
です。

工事完成後の道路は、一般通行
車および農業従事の車両は通行可
きますが、一般の車は規制され
通行できませんので注意したべ
い。

26日	二宮西中学校竣工式 交通安全対策協議会
27日	農業委員会総会 広報編集委員会議 (1)
30日	消費生活展
31日	消防団退入団式

名所・旧跡めぐり

八幡神社
勝ほか二名により造営されたとある。

元町寺守護神に祭つてある神は菅田明神（はたわけの神）といふ神で、武田明神と云われ、民衆を広く仰慕された。本宮佐佐木清大分県下市で、後、伝はる神田の御妻と云ふ神に比喩（おおむけき）と言う神の類が現れ、断言するところ、遂に八幡神の神託があり、「又まは日長（ひなが）も通ふ」とりあひこゝまつ

明治の始め、善行寺は焼失、本寺の大応とめ、明治十六年二月、戸長、古澤平七氏の志、新築田山、二月新番地、山内二世の爲起人なりと表懸（おほりか）す、明治十年九月十日、現在所、明治十

大失火の
 年四月二十一日中喜及び長興
 八幡 補修完了、昭和十一年一月に
 破損が 田新太郎氏寄贈の山林を社地
 村役を 定め、一部吉川佐太郎氏の贈
 により を受け崇拝者の奉仕にも利用
 八二三 地に完成、昭和五十四年二月
 建和尙 社造営発起人会、建設費を
 足定、四月十七日社解体
 移され 二十三日祭り、六月二十
 助序舎 上棟式、七月五日に竣工した

町の動き
3月1日～31日

町消防職員募集

- 職 種 消防職員（二宮町消防署勤務）・給与 町の規定により支給
- 資 格 高卒で25歳までの男子（※1名）
- 受付 4月23日まで（除、日曜、祭日）に履歴書持参のうえ総務課へおいでください（但し、郵送の場合は締切日必着のこと）
- 受験の日時・場所 追って申込者に連絡する
- 申込みは備え付けの申請書にやり手続きしてください 電話71-3311

町の動き

3月1日~31日

26日 二宮西中学校竣工式
交通安全対策協議会

27日 農業委員会総会
広報編集委員会議（広報4月号の編集等）

30日 消費生活展

31日 消防団退入団式

